

## 【編集後記】

## 二宮治彦（編集長）

今年度から、再度、年間3号の発刊を目指しているので、関係教員の皆様からの寄稿を期待しました。幸い、東野先生が呼応下さって、東野先生のライフワークともいえる超音波検査に関して、臨床検査技師さんの活躍を紹介してくださいました。将来、この分野で学類の卒業生が活躍されることを期待します。ヒトに直接接する分野であること、診断にかなり重要な比重を占めていて、検査技師としても責任をもって仕事をすることができます。

「桐技会」には、かねてからOB/OGの近況を寄稿下さいとお願いしてありました。今回は一回生の柴(渡邊)綾さんに寄稿いただきました。女性として、検査技師として、研究者として、悩みながらも生きておられるようです。次号以降へも、同窓生からの近況報告が寄せられることを期待します。

三回生(2008年度卒業)の国試対策に関するアンケート結果をお寄せいただきました。いつもながら、あまり勉強しなかったけど受かったやいました・・・という内容には、在校生はかすかな光明を見いださないように！早くから、しっかり準備してください。残念ながら、今回の国家試験の結果、筑波大学として受容できる数字でなかったことはご存じのとおりです。

筑波医療科学 第6巻 第2号	
編集	筑波医療科学 編集委員会 二宮治彦 有波忠雄
発行所	筑波大学 医学群 医療科学類 〒305-8575 茨城県つくば市天王台1-1-1
発行日	2009年 8月25日